



かつては東海道水口宿の土産物として、また、皇室や伊勢神宮にも献上された伝統工芸品「水口細工」は、昭和40年代に途絶えてしまいました。これを復活させ、後世に伝えていこうと活動されている「水口細工復興研究会」。今回は、その会長である橋本さんにお話を伺いました。

水口細工復興研究会  
会長 橋本 黄市さん

今後の活動は？  
まだまだ先人たちの作品にはかないませんが、少しでも近づけるようさらに技術を磨いていきます。また、若い世代に水口細工の魅力を伝えていくことも大切な活動です。最近では、小中学生に公民館で教えたり、高校の授業に出向いたり、子どもたちへの伝承に力を入れています。水口細工は甲賀市にしかない「すばらしい郷土の工芸品」であるということをもっと多くの人に知ってもらえるよう今後も活動を続けていきます。



▲研究会による水口細工の作品

DEAI KOKA  
であいこうか

# 水口細工ならではの魅力を伝えたい

これまでの研究会の歩みは？  
平成12年に水口細工に興味のある者が集まり、研究会を発足させました。しかし、材料など何も分からず、現存していた水口細工をもとに研究を重ね、9年かけてようやく材料やその加工法を確認しました。

水口細工の魅力は？  
水口細工は植物の繊維を編んで作っていきま。シンプルに見えますが、編み込みには巧みな技術が必要で、とても奥が深いです。また、材料がすべて自然の植物というのも魅力の一つです。葛やアオツヅラフジなどの植物を自分たちで山林から採取・加工し、使用しています。



▲葛の皮をむいて繊維を取り出す会員たち(水口スポーツの森キャンプ場にて)



## 里山に復活 ～市の花「ササユリ」が开花～

市の花に制定されている「ササユリ」。6月になると里山のあちこちに咲く風景が見られましたが環境の変化などにより、近年、その数は減少しています。かつての風景を再現しようとササユリを保護する取り組みがさまざまな地域で行われています。その保護活動により開花したササユリの鑑賞会が6月から市内各地で開催されました。鑑賞に訪れた人は、山里に可憐に咲くササユリの美しさや香りを堪能していました。



▶ 開花したササユリ

## 地震の揺れを体験 ～伴谷保育園避難訓練・起震車体験～

水口消防署協力による、避難訓練と起震車体験が6月12日、伴谷保育園で行われました。地震の発生を想定した訓練では、園児たちは非常ベルの音や放送を聞き、園庭に避難しました。その後、水口消防署員から地震や火災が起きたときの身の守り方を教わりました。また、年中児と年長児は、起震車に乗って、震度4から5弱の揺れを体験しました。園児たちには普段感じることのない地震の怖さを学ぶよい機会となったようです。



▶ 起震車で揺れを体験する園児

## 情報交流広場 となりのまち



### 伊賀市 伊賀市農業公園 第20回農業ふれあいまつり

伊賀市農業公園開設以来、恒例となる「農業ふれあいまつり」を開催します。会場では、伊賀の農産物・特産物の販売、演奏やダンスといったステージ、お楽しみ抽選会など、楽しいイベントをご用意しています。ぜひお越しください。

とき 7月17日(月・祝) 9時～15時(小雨決行)  
ところ 伊賀市農業公園芝生広場(伊賀市予野11440)  
アクセス 名阪国道「大内IC」から車で約10分

【問い合わせ】  
農業ふれあいまつり実行委員会  
TEL.0595-39-1250  
※貸農園の申し込みも受け付けていますので、詳しくは伊賀市農業公園ホームページをご覧ください。  
<http://www.ict.ne.jp/~mizakura/index.html>



### 亀山市 関宿祇園夏まつり

旧東海道の関宿で、神輿や曳山が町内を練り歩く活気あふれる夏の風物詩。夜には「関の山(そこまでが精いっぱい)」の語源となった絢爛豪華な4台の山車が巡行します。巡行の要所で練り広げられる「舞台まわし」は、県下の他の山車にはみられない迫力があります。ぜひ、お越しください。

とき 7月22日(土)～23日(日)  
※神輿の渡御 13時～17時  
※山車の巡行 17時～22時頃  
ところ 関宿街道一帯  
アクセス 東名阪自動車道「亀山IC」から関方面へ約10分

【問い合わせ】  
関宿祇園夏まつり実行委員会事務局  
(亀山市観光協会内TEL.0595-97-8877)



## 七夕かざりを作ったよ

1歳から2歳5カ月の未就園児を対象にした「ぴよんぴよんひろば」が6月13日、水口子育て支援センターで開催され、35組73人の親子が参加しました。このひろばは親子同士が交流する場として、市内5つのセンターで毎月開かれています。今回は、親子で七夕かざりの制作をした後、ふれあひ遊びをしたり、歌を歌ったりもして楽しみました。子どもたちは出来上がった作品をうれしそうに手にし、満面の笑みを見せていました。



▶ 出来上がった作品を披露

## 演奏と歌声に大きな拍手

市内の7中学校の吹奏楽部の生徒が一堂に集う「ユースプラスフェスティバル2017」が6月3日、あいこう市民ホールで開催されました。今年初めて日野中学校も招かれ、各校それぞれに個性ある素晴らしい演奏を披露されました。市内3年生部員による合同演奏では、忍者にちなんだ曲「勇気100%」と全員合唱「あすという日が」が披露され、迫力の演奏と澄んだ歌声に観客からは大きな拍手が送られました。



▶ 生徒全員での合同演奏